

専門ゼミ A		演習	教 授 吉田 一康	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301	

1. テーマ

国際取引法の基本事項を理解することをテーマとします。そのために、法律の基礎から学びます。次に、国際取引法の基本を学習し、更に国際取引法と旅行やスポーツの関係に着目して、海外旅行などに関する法律や、スポーツ仲裁や移籍規定などのスポーツ法についても学習し、国際的な視野を身に付けることを講義の目標とします。

2. ゼミのねらい・概要

現在、デパートやスーパーで買い物をするときに、商品の原産地や製造地を意識して見てみると分かると思いますが、今や「made in Japan」の商品の方が少ないかもしれません。多くの商品が、国際取引を通じて外国から輸入されたものです。「国際取引法」は、そのような国際取引に関する法律の総称です。

その国際取引法の基本事項を理解することをゼミのねらいとします。各論として、宅建士、通関士及び総合旅行業務取扱管理者などの資格の紹介と基礎的な内容について学び、就職対策として、面接対策や国際事情・常識問題などを学習します。資格や国際事情に興味を持って頂けたら幸いです。

3. ゼミ計画

1. 講義紹介・自己紹介など	9. 小試験
2. 法律とは（定義、強制力）	10. 国際取引法とは（定義、公法と私法）
3. 小試験	11. 国際私法（準拠法とは）
4. 憲法（ビジネス関係）	12. グループ学習（就職対策）
5. 民法（不動産売買契約書、宅建士）	13. スポーツ法（定義、ドーピングなど）
6. グループ学習（就職対策）	14. 移籍規定（プロ野球、F I F A）
7. 商法・会社法（会社の種類）	15. 前期まとめ・小試験
8. 労働法（使用者と労働者）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各講義の内容に係る参考文献の該当箇所を読んでくること（1時間程度）。講義後、授業内容や小試験の内容を復習して、解答を理解しておくこと（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ① 各講義で行う練習問題の後に、解答及び説明を行います。 ② 小試験後、解答及び説明を行います。

6. ゼミにおける学修の到達目標

- ① 国際取引法の基本を理解して国際感覚を磨くこと。 ② スポーツ法の基本を理解すること。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 70～80%（積極性、小試験など）＋ 授業への取り組み姿勢（授業への貢献度、発表など）20～30%

A 80 点以上 B 70～79 点 C 60～69 点 D（不可）60 点未満

8. テキスト・参考文献

毎回、必要資料を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

① 伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門』（有斐閣双書、第4版、2005）1320 円

② 佐野寛『国際取引法』（第4版）有斐閣 2014 年（2750 円）

③ 浦川道太郎他、日本スポーツ法学会監修『標準テキスト スポーツ法学』（第3版）エイデル研究所 2020 年（2750 円）

9. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、不動産会社等における法務の実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。